

第3回 段位認定制度審議会・開催報告

外部の専門的な提言を取り入れることによって、より社会的に評価される段位認定制度へと発展させるとの目的で、「段位認定制度審議会」が昨年度から開催され、今回は3回目の開催となりました。審議員は外部専門家5名と、中谷理事長以下、段位認定事業に関係する役員7名の合計12名が理事長の委嘱を受けています(下表参照)。



日時：7月7日(金) 午後3時半～

会場：麺業会館 4階・会議室

次第：過去2回の審議を経て、今回は、

内容 1)上位段の設置 2)審査員制度の改革 の2件を審議しました。

①理事長あいさつ

②五段以上の段位創設について

1)名称 2)受験資格・期間 3)審査要領

③審査員制度の改革について

1)現状と問題点 2)対応策 3)改正工程

④次回の審議会日程について

審議経緯の報告

そば打ち段位認定制度は運用から21年間を経て段位認定者数は13千人を超え、年々増加しています。そば打ち段位認定制度は「そばによる地域活性化」を目的としている全麵協の基幹事業であることから、段位認定制度を社会的な評価を得ることが出来る制度へとさらに進化発展させ、段位認定制度を通じて地域活性化に貢献する必要があります。

段位認定制度が社会的な評価を得るための方策を審議するには、段位認定制度に関わっている内部関係者だけでなく、全麵協の趣旨を良く理解するとともに、私たちの活動に期待を寄せている外部専門家の意見を受けながら審議を進めることが非常に重要です。

昨年2回にわたって開かれた「段位認定制度審議会」では、全麵協および段位認定制度の現状と課題について説明を行い、その解決方策について審議しました。そして、五段位まで設けられている現在の段位に、それ以上の段位を設けることが課題解決と全麵協活動の将来に有効であると方向が示されていきました。

今回は、より具体的に五段位以上の上位段創設(六段位・七段位・八段位)について審議されました。

また、段位認定制度を進めて行く上で重要な存在である「審査員制度」の現状と課題について説明があり、今後は「審査員制度検討会」を編成して検討を開始させることが決定されました。

素人そば打ち段位認定制度審議会委員

No.	職	氏名	役職	備考
1	委員長	中谷 信一	全麵協 理事長	
2	委員	鵜飼 良平	前・日麵連会長	
3	〃	古賀 学	松蔭大学 教授	
4	〃	千秋 健	ジャーナリスト・地域再生道場主宰	
5	〃	永田 雄一	元・柴田書店 編集長	
6	〃	上岡 悦子	華道表千家 教授	
7	〃	加藤 憲	全麵協 段位認定事業部長	
8	〃	板倉 敏和	〃 地域振興部長	
9	〃	藤間 英雄	〃 事務局長	
10	〃	山本 剛	〃 全麵協 西日本支部長	
11	〃	落合 輝美	〃 全麵協 段位普及部会長	
12	〃	谷端淳一郎	〃 全麵協 段位認定部会長	

(報告:段位認定部会 谷端)